



暮らしと平和を守るため
今年も、全力でがんばります。

日本共産党府会議員団

団長 松尾 孝

定率減税の縮小・廃止から消費税大増税と国民に次々痛みを押し付ける小泉内閣。地方自治体には「三位一体改革」を押し付け、義務教育費、国保や生活保護まで削減しようとしています。そして、昨年の年金大改悪につづいて、今年も介護保険の改悪をすすめようとしています。この悪政の防波堤とならなければならぬ府政も、逆に、洛東病院の廃止、指定管理者制度の導入など府政リストラを進めています。また、自衛隊のイラク派兵延長、憲法改悪の強行など、平和や安全の問題も重大な局面を迎えています。

この時こそ、「国民の苦難・要求あるところ、日本共産党あり」の立党の精神を貫き、府民のみなさんの暮らし、平和と安全を守るため全力をあげて頑張る決意です。今年も、みなさんの一層のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

- | | |
|-------|--|
| 松尾 孝 | 議員団長
総務常任委員
産業雇用活性化特別委員 |
| 新井 進 | 議員団幹事長
議会運営委員会理事
農林商工常任委員
総合交通対策特別委員 |
| 梅木 紀秀 | 議員団副団長
議会常任委員
警察常任委員
少子高齢社会、青少年対策特別委員 |
| 前窪義由紀 | 議員団副幹事長
議会運営委員
建設常任委員
地方行政改革特別委員 |
| 島田 敬子 | 厚生労働常任委員
京都再生・ブランド戦略特別委員 |
| 加味根史朗 | 文教常任委員
少子高齢社会、青少年対策特別委員 |
| 光永 敦彦 | 総務常任委員
環境・防災対策特別委員 |
| 本庄 孝夫 | 文教常任委員
地方行政改革特別委員 |
| 原田 完 | 農林商工常任委員
京都再生・ブランド戦略特別委員 |
| 久守 一敏 | 建設常任委員
総合交通対策特別委員 |
| 山内 佳子 | 警察常任委員
環境・防災対策特別委員 |
| 西脇 郁子 | 厚生労働常任委員
産業雇用活性化特別委員 |

日本共産党京都府会議員団

府会だより

12月 定例議会
2004年12月2日
12月17日

台風23号 災害

被災者の生活と営業、 農林漁業と地域の再建に全力

被災直後から被害状況を調査、 府に切実な声を届ける

十月二十日の台風二十三号は、府中北部地域に甚大な被害をもたらしました。党議員団は、二十日夜から各地の被害状況を掌握し、由良川が警戒水域を越え、桂川渡月橋付近でホテル等に浸水被害が発生するも、緊急に「大野ダム、日吉ダムの放流の抑制を」と災害対策本部に申し入れを行うとともに、二十一日、早朝から被災地へ調査団を派遣、状況調査と被災者の激励に取り組みました。

この調査をもとに、二十二日、府に対し、ライフラインの早急な復旧、市町でのボランティアの呼びかけ、被災地へ府職員を派遣し、被害状況調査、災害復旧、救援支援を、災害救助法の早期適用、激甚災指定を早急に受け、災害復旧、生活・営業再建支援に全力を、との緊急申し入れを行いました。

さらに、二十六日には、具体的箇所を指摘し、二次災害のおそれへの緊急対策、影響の大きい



宮津市滝場

幹線道路の早期開通と生活道路の確保、災害ゴミの撤去への支援、生活環境の回復、被災者とりわけ高齢者、独居老人への訪問と健康管理、相談窓口の開設と生活支援金の給付、再建支援法、災害救助法の適用拡大と府としての上乗せ措置、被災住宅再建への助成、被災者への支援制度創設、農林漁業、商工業者の被害調査と支援などを求めました。

十月二十八日から始まった決算特別委員会の書面審査では各部局に対し、二次被害を防ぐための風倒木の緊急処理、パイプハウスや農機具、漁船

などへの助成、商工業者の生産設備への助成、未指定文化財への助成など、被害の実態に即した対策を求めました。

こうした被害の実態と被災者や関係者の声をもとにした京都府へ

の申し入れは、事態にかみ合ったもので、大野ダムの放流調整も、関係自治体からの要請もあり「緊急操作」が行われ、由良川決壊の危険を免れ、水没したバスの三十七名の命が救われることとなりました。また、災害救助法の適用も、申し入れた段階では副知事は「市町からの要請がまだない」としていましたが、その直後の対策本部で、救助法適用が具体化されることとなりました。

11月臨時議会

**最高三〇〇万円の被災者
住宅再建など
三〇〇億円の補正予算**

十一月十五日には、台風災害対策のための臨時議会が開かれました。討論にたつた松尾孝団長は、被災地の調査を踏まえ、被災者の救援、住宅や農林業、商工業者の緊急対策を強く求めました。

臨時議会には、災害復旧と被災者支援のために三〇二億円の「災害復旧対策補正予算」が提案されましたが、これには、被災者や関係自治体の声とわが党議員団が求めてきた対策の多くが盛り込まれ、最高三〇〇万円の住宅再建のための助成措置や商工業者への特別融資などが実現しました。また、その後の論戦を通じて、農林関係での緊急



対政府交渉

十一月二十九日には、地元議員団と府議団、京都府委員会、国会議員団が協力して、内閣府（防災担当）、総務省、国土交通省、農林水産省、経済産業省、文部科学省、厚生労働省へ五十二項目の要望を提出し、交渉をおこないました。その結果、生活再建支援法や災害救助法の「弾力的運用」で、被災者を可能な限り救済する道が開かれ、宮

11/29 対政府交渉

**被災地の願いを国に届け、
「実情に応じ弾力的対応」
の回答引き出す**

急風倒木処理や無利子融資制度、未指定文化財への助成なども実現しました。

被災者の生活と営業の一日も早い再建と災害復旧、災害に強い地域づくりへ引き続き全力をあげていきます。

党議員団は、被災者の生活と営業の再建はこれからです。制度が一人一人の被災者の救済に役立つものとして適切に運用されること、農漁業者、商工業者の生産設備への助成、災害に強いまちづくりのための河川改修や土砂災害危険箇所への対策、防災無線の配備、防災体制の強化など、多くの課題があります。



大江町の調査

被災者と対話

**「国民の苦難あるところ、
日本共産党あり」
府議団独自のパンフや全戸
ビラを作成**

津・大手川改修の早期実現への道を開くなど前進させました。

党議員団は、新しく実現した府の制度や国の制度を知らせるパンフ「こんな制度が活用できます」を作成。さらに政府交渉の結果報告や全世帯対象のビラも作成し、被災者の皆さんと府や関係市町に届け、共同しての被災者救援、災害復旧の取り組みを前進させてきました。

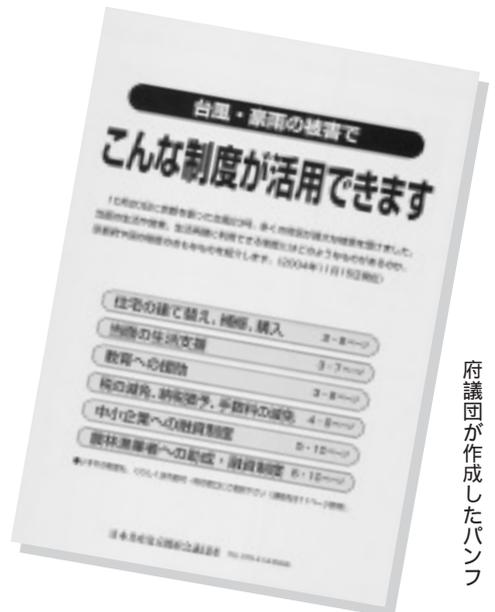
**被災者支援に全力を尽くした
党議員団**



松尾 孝 (伏見区)

台風23号災害は、京都府中北部に昭和28年災害以来、50年ぶりと言われる大きな被害をもたらしました。府会議員団は災害発生の翌21日早朝から連日被災地に入り、救援・復旧活動に全力をあげました。私自身も10日間にわたって、福知山市、宮津市、舞鶴市、京丹後市、加悦町、大江町などに入り、被災者のみなさんを激励し、要求

をお聞きして各自治体や京都府に届け、機敏な対策を求めました。府が300億円の補正予算を組み、しかも、全壊300万円、半壊150万円、床上浸水に50万円の補助が実現できたことは大きかったと喜んでいきます。今後とも、「国民の苦難・要求あるところ、日本共産党あり」を掲げ、大いに頑張る決意です。



府議団が作成したパンフ

道理も根拠もない 洛東病院の廃止条例は撤回せよ

12月8日

代表質問

代表質問に立った加味根府議は、台風23号災害対策や洛東病院廃止問題、「経営改革プラン（素案）」、伝統産業対策、住宅改修助成、教育費負担軽減と子育て支援、地方財政問題などで山田知事の姿勢をただしました。

公的なりハビリ医療の 充実こそ検討すべき

加味根府議は、「医療情勢の変化」や「民間病院との役割分担」を強調

する知事の論拠に対し、洛東病院のように回復期のリハビリ病棟を持つ病院は府内で十一しかなく、京都のリハビリ施策が「全国水準から十年遅れている関西」の中でも、さらに遅れていると指摘。「廃止には何らの道理も根拠もない」と批判

福祉・医療切り捨ての 根底に、府の公的責任 投げ捨ての方針

「せよ」と迫りました。知事は、「施策の選択・集中が必要」などと答弁し、府民の切実な願いには冷たく背を向けましたが、加味根府議は「選択と集中」というなら、福祉や医療を切り捨てるのではなく、不要不急のムダな大型事業こそ見直すべきだと強調しました。



洛東病院廃止反対の府庁包囲デモ（12月17日）



加味根 史郎 議員 (右京区)

しました。また、廃止を提言した検討委員会に、府代表で参加しているのは保健福祉部などの専門職員でなく、島津製作所から来た「経営戦略室」の職員である事実を見ても、「廃止のために初めから強引にことを進めてきた知事のやり方は明らかである」と痛烈に批判。「府立医大病院と洛東病院を核とした公的なりハビリ医療の充実こそ検討すべきであり、廃止条例案は撤回

加味根議員は、洛東病院廃止を狙う京都府の考え方の根底には「経営改革プラン」（素案）が強調する「経営手法」の導入があると指摘。この考え方による「行政体質の根本的改革」とは、結局、「不採算」「効率性」を口実に福祉や医療を切り捨てるものであり、これでは地方自治体本来の役割、行政の公的責任を投げ捨てるものではないかと知事の考えをただしました。知事は、「分権時代にあつた簡素で効果的・効率的な府民本位の府庁づくり」「抜本的

な体質改善を新たな視点で進め、財政運営の仕組み自体を改革していく」ことを強調。この中で、指定管理者制度（注）による「効率的運営」の考えも「当然のこと」と答弁しました。

災害対策、子育て支援、住宅改修など
府民の願い実現を

この他、加味根議員は、台風23号

質問を終えて

知事の頭の中には、住民の福祉の増進をはかる府の役割がないのではないかと痛感しました。台風災害で事業を継続する意欲さえ失いかけている業者や農家、漁業者を支援するために、新潟県や福井県がやっている助成をと質問しましたが、知事は検討する姿勢すら示しませんでした。洛東病院問題でも、回復期のリハビリ病棟を持つ病院が11しかないことを初めて認めましたが、それでも同病院を廃止して問題なしとの態度です。府民の命を守るための税金はもったいないが、丹後の大規模公園には50億円使って当然という姿勢です。小泉内閣の「官から民へ」という構造改革にそって、文化博物館や体育館など府の施設を大企業の金儲けのために開放することにも熱心です。こんな府政に府民の怒りが高まっています。府政をかえるため、府民のみなさんとともにがんばります。

加味根

で被災した中小零細業者や農林漁者に対し、融資だけでなく、府として機械・設備の修理・購入などへの直接助成制度を導入するよう強く要望。労働条件改善や育児休業制度の普及など子育て支援策の強化、さらに高すぎる教育費や子どもの医療費など経済的負担の軽減をもとめました。

また、加味根議員が「住宅の耐震化工事に対する助成制度を」と要求したことに對し、知事は、「多くの既存の制度が十分活用されていないのが現状であり、今後、耐震改修工法の調査・検討を進め、制度上の課題について引き続き研究したい」と答えました。

(注) 一昨年六月の地方自治法改正により、「公の施設」の管理が、地方公共団体が出資している法人等への委託から、地方自治体が指定する指定管理者の管理運営に変更されたことに伴い導入されました。

指定管理者には営利を目的とする株式会社なども含まれ、公の施設の公共性や自治体の公的責任がどうなるのかなどの問題点が指摘されています。また、財界などは「ビジネスチャンスの拡大」のためと、その導入を強く要求してきました。

裏帳簿の公開を
警察裏金問題

梅木 紀秀 (左京区)



9月議会で、府警本部は「旅費問題」の内部調査の結果、「昨年度101の班・係で7400万円が一括管理され、うち4300万円が飲食や慶弔費に使われた」と公表した。しかし「不正請求・不正流用はない」と言う。「旅行命令簿と支払簿を照合した結果、適正であった」と言うが、研修時の交通費を実際はパトカーで帰ったのに電車賃で請求した事例が、5年間に932件も発覚している。つまり「旅行命令簿と支払簿」を照合しても「不正請求なし」とは言えないのである。プール金の帳簿がある。今議会で再度「帳簿を公表せよ」と要求したが、「私的な文書である」と居直り、公開を拒否した。さらに追及するが、2月議会から委員会審議の様子もインターネットで公開される。世論で包囲し、帳簿を公開させたい。



府民大集会後のデモ (11月28日)

質問妨害で考えさせられた
議員のあり方

西脇 郁子 (下京区)



「バシーン！」産業雇用活性化特別委員会でのこと。私の質問最中に与党のある議員が突然、自分の資料の束を机の上に叩きつけ、一瞬、委員会室全体の空気は凍りつきました。

まだ所管事項の審議は始まったばかりだというのに、早くやめろと言わんばかりにいきなり府民から託された議員の質問を妨害するこの行為は断じて許せません。当然、即座に議員と委員長に抗議をしました。この議員にとっては、いったい何のための議会であり、委員会なのでしょうか。ただ出席し、早く終わればそれでいいと思っているのであれば、こんな府民の税金の無駄遣いはありません。この出来事を通じて、改めて議員のあり方について考えさせられました。



洛東病院廃止反対デモ(12月17日)

12月9・10日

一般質問



原田 完 議員
(中京区)

原田議員は、大型店出店問題、府のJAへの指導、木屋町の治安について質問しました。

異常な大型店の出店計画

地域のくらし、まちづくりの破壊を許すな

約二五万㎡もの売場面積となる新たな大型店出店計画。現在の全小売事業者の売場面積の一割に達します。原田議員は地域社会のくらしを支え

てきた中小小売業、商店街を守り発展させるべきと指摘。府として大型店出店の規制強化に取り組みとともに、国に「大店立地法」の見直し強化を求めよと追及しました。

また、大型店の出店を調整する方法として注目されている「小売商業調整特別措置法」について、大企業者と中小業者の紛争調整を行うもので法の第一条に「小売商の事業活動の機会を適正に確保し、及び小売商業の正常な秩序を阻害する要因を除去し、もって国民経済の健全な発展に寄与することを目的とする。」としており、府として積極的に対応するよう求めました。

木屋町界限

府民、観光客が安心して楽しめる街へ

京都府・警察は責任はたせ

京都の小粋な社交場、木屋町界限の治安、風紀が大変乱れ、安心して歩きにくい街になっています。

これは、立誠小学校が廃止されて以降、多くの性風俗店が集中出店しているからです。

地元が行うパトロールに自ら参加する原田議員は、現状を知事や府警本部長が認識しているのかと質問。その上で、湯布院や黒川温泉などで、

質問を終えて

12月定例会本会議で2回目の一般質問にたちました。いま、木屋町も立誠小学校廃校以後、風俗産業の集積地となり、治安の悪化は大変な状況で、学区自治連合会や中京料飲組合等の情緒を取り戻す運動、地域の浄化を進める運動が起こっています。

鳥インフルエンザ問題でも、緊急支援融資が実施されましたが、春から2回も国が円滑な事業実施の通達を出しているにもかかわらず、農協を通じての融資は1件も実現しない異常な状況。

台風23号被害で、被災者の激励と救援、様々な地域の要求と結びついて、議会内での論戦とあいまあった活動が求められています。まさに、「国民の苦難と要求のあるところに共産党あり」が示された議会でした。要求実現に向け、さらにながらみます。

原田



本庄 孝夫 議員
(山科区)

いかがわしい店を作らせまいまちづくりを進めている例や、官民あげたねばり強い取り組みで、性風俗店を八割方撤退させた新宿歌舞伎町での経験を紹介。性風俗店の違法行為があることを知りながら、黙認・放置するのでなく、強い姿勢で摘発に臨むこと、廃止された交番の復活、警

察への出店届出の段階で、周辺地域の同意書提出の義務化や暴力団関係者の徹底排除により出店のハードルを高くすることなどを提案。その実施を求めました。
警察本部長は、府民や観光客が安心して歩けるよう努めたいと答弁しました。

小学校低学年での
少人数学級選択に
条件をつけるな

まず、本庄議員は、知事が九月に関西の知事座談会で、「京都市少人数教育」について、「学校現場が考え選択する」と語ったにもかかわらず、教育委員会が「小学校一・二年生では複数で指導することが基本」

質問を終えて

「学力国際調査」「国際数学・理科調査」結果の相次ぐ発表。その特徴は、「学習に興味を失いがち」、読解力で「真ん中が減って、できない子が増えている」と「学力格差」「学校間の格差」も高率との分析。調査で高得点、格差の少ないフィンランドの国語は1クラス19人学級。

12月府議会・一般質問で、中高一貫校など競争重視の府教委の「学力診断テスト」を告発。府内の平均点より劣っている学校長が、地教委に「始末書」まで書かされ、ついには「テスト中にヒントを出してでも」と叱咤する姿。「点数引き上げ競争」の悪循環の弊害。

学力不安や危機にあおられず冷静に分析すべき。学力を把握するなら、学校ごとに「理解・達成してほしい問題」の達成度を調査し、指導に生かすことこそ学力保障の確かな道と提案。

本庄

としていることを指摘。知事に対して「少人数学級を選択するのに、何か条件があるのか」と問いただしました。

答弁にたった知事は、小学校低学年では「少人数学級等の選択要望があれば、説明責任が必要だが、加配教員の枠内で積極的に応じていく」と発言。再質問にたった本庄議員は、「今日の知事の答弁で初めて、教育委員会も含め、小学校低学年の少人数学級実施に踏み込んだ答弁がされた」と確認、念押ししました。

本庄議員は、教育現場で、講師の数が五年前の約千名から激増して千五百名を超え、教員の約一割以上を占めていると指摘。これらの講師には、朝の教職員の打ち合わせにも、職員会議にも参加する条件が保障されていないこととりあげ、近畿で

最低の教職員配置基準の改善を行うべきと迫りました。

学力診断テストの問題では、テストの結果が府や教育局管内の平均より劣る学校長が地教委に呼び出され、「始末書」を書かされるなど、点数引き上げ競争を際限なくエスカレートさせている実情もとりあげて、「学力テスト競争」はきっぱりとやめるべきだと迫りました。

南部地域の養護学校の再編整備計画問題では、現在二百人を超えるマンモス校となっている南山城養護学校で、特別教室が少ないために、音楽や体育の授業を廊下で行っているなどの事態が起きていることを指摘。大規模でなく、地元と結びついた養護学校を生活圏ごとにつくることを求めました。



島田 敬子 議員
(右京区)

洛東病院廃止条例を撤回し、府のリハビリ医療体制の充実を

島田敬子議員は、洛東病院の廃止問題、介護保険の見直し問題について質問しました。

島田議員は、洛東病院の廃止条例について、「大阪や奈良を探したが入院を受け入れてもらえない」との患者の声を紹介し、「順調に転院が進んでいる」とする知事の態度を厳しく批判するとともに、専門家の中で大きく広がる洛東病院廃止反対の声を紹介しましたが、知事は、同病院問題では答弁に立ちませんでした。

島田議員は、府内のリハビリ医療充実に向けて、府立医大にリハビリ医学教室を設置し専門医を養成する、リハビリ医療の中核施設となる広域支援センターを二次医療圏毎

に指定する、などを要求。与党議員も今まで府議会で、洛東病院の整備拡充や総合的リハビリ体制の確立を要望してきたことを取り上げ、同病院廃止条例案の撤回と慎重審議を求めました。

サービス切り捨て・負担増をやめ、より良い介護制度に改善を

また、介護保険制度の見直し論議について、国の財政支出を削るために、在宅介護サービスの利用を制限し、利用料を大幅に値上げするもので、「改革」の名に値しないと指摘しましたが、保健福祉部長は、「国の方向性は、京都府の健康長寿日本一プランとも一致したもの」と答弁するだけで、反対しませんでした。

島田議員は、誰もが安心できる介護制度とするため、ただちに改善にとりくむべきこととして、保険料・利用料のあり方を支払能力に応じた負担の方向に見直す、在宅・施設両面で安心して暮らせる基盤の整備を進める、介護・医療・福祉等の連携を強め、高齢者の健康づくりを進める、介護労働者の労働条件を改善する、などを提案。とくに、利用者負担について、国の制度が打ち切られても府の支援策は継続するよう強く求めました。

意見書討論



久守 一敏 議員
(伏見区)

十二月定例会には、日本共産党議員団提案の「地方交付税等の維持・拡充を求める意見書(案)」「三位一体改革」の名

による国庫補助負担金の廃止に関する意見書(案)」「定率減税の縮小・廃止に反対する意見書(案)」「イラクからの自衛隊の早期撤退を求める意見書(案)」「京都府のリハビリテーション医療の充実を求める決議(案)」「の五意見書・決議案と四党派提案の「三位一体改革」を国の財政再建の手段に利用しないことを求める意見書(案)」、民主・府民連合提案の「イラクへの自衛隊派遣延長の撤回を求める意見書(案)」が提案されました。(採決の結果は、12ページの「一覧表」をご覧ください)

久守議員は、いま「三位一体改革」の名によってすすめられている地方交付税等の大幅削減や国庫補助負担金の廃止が福祉・医療・教育などを切り捨て、地方財政をいっそうの困難に追いやるものと厳しく指摘。地方交付税等の維持・拡充を強く求めるとともに、「三位一体改革」の推進を前提としている四党派提案の意見書案に反対しました。

また、「国民に耐え難い「痛み」を押しつけ、日本経済に大きな打撃を与えることが明らかとなっている「定率減税の縮

小・廃止」を絶対に行うべきではないと指摘しました。

久守議員は、先の閣議で決定されたイラクへの自衛隊派兵延長について、イラク戦争の「大義」が根底から崩壊し、自衛隊派兵を延長する根拠がことごとく崩れているとして、すみやかな撤退を要求。「日米同盟に基づく信頼関係」を強調した民主・府民連合提案の意見書案は、「自衛隊の撤退要求とは根本から矛盾するもの」として反対しました。

また、京都府のリハビリテーション施策の大変な遅れを指摘し、その充実を求めました。

住民の命と暮らしを脅かす政治が、国でも地方でもどンドン押し進められようとしています。府民のみなさんから寄せられた願いに応え、我が党は、憲法に明記された「地方自治」の確立のために、全国の自治体関係者の一致した願いである地方交付税等の維持・拡充を求めました。医療・福祉・教育での国庫補助負担金が国の責任で保障されるべきことを明らかにし、国民負担の増税路線で実施される定率減税の縮小・廃止に反対しました。そして、何よりも緊急の課題であり、世界と日本の平和にとって脅威である無法な米国の侵略戦争に加担するイラクからの自衛隊の早期撤退を求めました。

本議会で大問題となった府のリハビリテーション医療の改善・充実を求める決議(案)を採択するように強く求めましたが、住民の願いに背を向け否決したオール与党に強い憤りを感じます。

久守

討論を終えて

台風被害のなか
決算委員会と12月議会を終えて

山内 佳子 (南区)



10月28日から11月16日までおこなわれた決算特別委員会では、高校生の通学費補助の充実と中学校給食、生活保護と母子家庭の支援の問題、環境問題で京都エコエネルギープロジェクトの問題点、京都府警の旅費と報償費の不正流用疑惑の追及、そして、その問題での監査委員に対する厳しい監査の実施を求めるなど、5日間質問に立ちました。京都府警の旅費の不正流用疑惑については、内部調査のずさんさが引き続き明らかになりましたが、それだけに、第三者を含めた調査機関の必要性を実感。与党の一部の議員からも「身内に甘いのでは...」といった意味の指摘がされました。

12月議会では、キリンビール京都工場の跡地開発にかかわる交通問題で質問。府警本部から「既存住民が困ることのないように厳しく指導する」との回答を得ることができました。



1月4日新春の門前宣伝

「豪雨時に琵琶湖から放流」
宇治川が溢水の危険

前窪 義由紀 (宇治市・久世郡)



12月3日、滋賀県知事は、豪雨時に瀬田川洗堰の全閉操作を義務付けた操作規則の見直しを国土交通省に要請した。

瀬田川洗堰を全開放流しても、河川整備が進んだため、一部地域(宇治川)を除いて京都・大阪など下流地域の洪水は起きないとし、明治以来続いている洗堰の全閉操作をやめ、豪雨時にも放流しようとするもの。

私は、建設常任委員会で「宇治川では溢水の危険性があるとされている。宇治市など下流側住民の不安に対して、府として国土交通省へ働きかけるべき」と質問した。理事者は「正式に聞いていない。国から話が来た段階で対応する」と受動的な答弁だった。

昨年秋、台風23号で大きな被害を受けた。府の治水・防災への前向きな取り組みを求めたい。



台風23号被害で知事あてに申し入れ

議案討論



光永 敦彦 議員
(左京区)

議案討論に立った光

永議員は、二〇〇三年度京都府一般会計および特別会計決算の認定に反対であるとして、

第一に、二百十五項目の事業を削減し、府民への新たな負担をおしつけたこと、第二に、中小企業や伝統産業支援が求められている時に、ITやベンチャーに偏った予算執行となっていること、第三に、河川の改修・整備の予算が毎年削減されてきたこと、第四に、いままですめる必要のない大型公共事業にメスが入れられていないことを指摘しました。

また、水道事業会計決算について、過大な水需要予測を前提として、府民に高い水道料金を押し付けるものであったことが、知事自らの「水利権の一部放棄」発言で明らかになったとして、反対しました。

光永議員は、京都市と京北町との合併について、山国隊以来の京北町の先進的な歴史と伝統にもふれながら、中学生まで医療費を無料化するなどのきめ細かな独自の施策が後退させられ、町民が力を合わせて築いてきたまちづくりの成果と歴史的財産を損なうことになるとして、「合併に反対」を表明しました。

また、指定管理者制度を導入する条例について、すでに、宇治市で指定管理者

制度を契機として保育園の廃止と民間への払い下げがゴリ押しされている事例も紹介し、自治体の公的責任を投げ捨て、自治体のあり方を根本から転換させるものとして、反対しました。

最後に、洛東病院廃止条例について、洛東病院の充実・整備という今までの府の方針をくつがえした山田知事の「採算性」最優先のやり方を厳しく批判し、「洛東病院の廃止を決めることは、京都府の歴史に重大な禍根を残す」として、廃止撤回を強く求めました。

与党四党派は、遅れている府のリハビリ医療の実態を棚上げにして「廃止やむなし」との態度に終始し、同病院廃止条例に賛成しました。

洛東病院関係者や京北町会議員のみなさんが傍聴される中での最終本会議討論。私は京北町のまちづくりの取り組みを紹介しつつ、京都市との合併で独自施策が継続されないと指摘。傍聴されていた京北町のみなさんはうなずき、一方議場は騒然。思わず議長が「静かに」と述べるほど、合併の影響を具体的に指摘したことが痛烈に響いたようです。

また、洛東病院廃止条例の反対を述べる時は、満身の怒りを込めました。他会派は「洛東病院廃止は妥当」とは言うものの、その理由は語れず、しかも「リハビリの充実が必要」と述べざるを得ないほど、患者さんや職員、府民のみなさんの道理ある廃止反対の取り組みは、確実に山田府政を動かしていると確信しました。

光永

討論を終えて

修正案討論

指定管理者制度の導入

松尾議員団長が「条例修正案」を提案、答弁に立つ

日本共産党府議団は、12月府議会に提案された「第3号議案 京都府の施設の管理等に関する条例」について修正案を提案。松尾府議団長が質問に対し答弁を行いました。本会議場で、わが党議員団が答弁に立つのは、史上初めてのことです。

修正案提案の趣旨説明に立った松尾団長は、指定管理者制度は、制度導入を強く求めてきた張本人が財界であり、その動機は「ビジネスチャンスの拡大」にあり、効率性、採算性優先の下でサービス低下は免れないと指摘。「条例の制定に当たってはこれらの問題点に留意し、可能な限りそれらを排除すべき」と強調。指定管理の対象は法改正に沿ったものにすべきであり、条例内容も手続き規定に限るべき、住民福祉の増進のため、

公的責任や公共性の確保等を明記すること、指定管理者の申請及びその候補者の選定に当たっての厳格な規定、の三点が基本的な考え方であるとのべ、その後、条例修正案の具体的な内容を説明しました。

他会派からは、「財界排除などの論点が前提になっている」となど、自民党府議が修正案に反対、質問に立ちましたが、松尾府議は真つ向から反論しました。

知事総括質疑

議員は、台風23号被災者の支援問題、「三位一体改革」の問題で、
テーション医療体制の問題で、山田啓二知事をただしました。



新井 進 議員(北区)

台風23号被害

中小業者、農林漁業者 への個人補償を

新井府議は、被災者の住宅再建への府の助成措置を積極的なものとして評価しつつ、農機具や中小業者の生産設備、船の買い替えや補修のための助成を実施すべきと求めました。また、府の防災体制について、とりわけ、昨年から実施した振興局や土木事務所再編で、舞鶴の土木事務所が廃止され、たった六人の体制になったため、災害発生時に対応がでなかつた問題を追及。さらに、京都府では、河川改修費が、平成十年に百三十億円であったのが、今度の決算では七十三億円にまで削減され、

急傾斜地や土砂災害危険箇所が八千箇所以上も残されていることをあげて、災害に強い京都をつくるために、本格的な対策を進めるべきと迫りました。

知事は、被災した中小業者、農林漁業者への個人補償の問題では、融資で対応すると答弁。「新たな借金をしても返せない」、けれども災害から立ち直って「働きたい」という被災者の願いに応えない、冷たい姿勢を示しました。

「採算性」を理由に 自治体の公的責任を 放棄するな

新井府議は、知事が「三位一体改革は地方の自由度を拡大する」と言うてきたことの誤りを暴露。「三位一

体改革」で福祉や医療、教育が切り捨てられていることを具体的に示した追及に、知事は、まともに答えられませんでした。

新井府議は、「経営戦略室」、「経営戦略会議」にみられる知事のやり方は、結局、自治体を経営の効率から考え、洛東病院の廃止のように「採算性が合わない」といつて公的責任を放棄するものと厳しく批判。このようなやり方を京都府に持ち込む知事の姿勢は、知事が言う「住民発」などではなく、「総務省発」だと指摘しました。

質問を終えて

台風被害対策は、被災者の声と議会での追及で、住宅再建支援や融資など前進しました。しかし、総括質疑で私が提起した中小業者や農林漁業者への助成について、知事は「自己弁護」に終始しました。

「福井県の地場産業助成を見習うべきだ」との追及には、「電源立地交付金があるところと違う」と答弁。ここには、被災した商工業者が「新たな借金はもう無理。これ以上続けられない」と声をあげている時、「営業を守り、地域経済再建のためどうするか」よりも、財政のことしか考えられない官僚的体質を示したものです。「医療よりも採算性」と洛東病院を廃止し、「サービスを受けようとするなら負担を」との「弱者切り捨て論」など、知事の姿勢が浮き彫りになってきています。

新井

決算特別委員会

11月16日、京都府議会決算特別委員会の総括質疑で、新井進また、島田敬子議員は、洛東病院の廃止問題、京都のリハビリ



島田 敬子 議員(右京区)

洛東病院の廃止方針は凍結し、患者・府民の声を聞いて拡充継続を

島田府議は、府立洛東病院の今年三月廃止の知事表明に対し、二万一千をこえる反対署名が寄せられていることを示し、「洛東病院は命の綱。この灯を消さないでほしい」など、届けられた患者や家族の継続を求め、声を具体的に紹介。知事に対し、こつした声を直接聞くべきだと求めました。

島田府議は、回復期リハビリ病床が、南山城、中丹、丹後には一つもなく、舞鶴や福知山、丹後からも患者が洛東病院にきていることを指摘

質問を終えて

「洛東病院継続を」の一心で質疑にたった。「洛東は生きる支え」と訴える患者、家族の思いを一度聞いてほしかった。「情に訴えるつもりか」と言う人がいたそうだが、そうではない。洛東病院がなぜ必要か、リハビリ医療の現場がどうなっているか、府は何をすべきかがよく見えてくるからだ。

悲しいことに、知事に見えたものは、老朽化した洛東病院の上っ面の姿だけ「高価な機械にビニールがかけてあるので、聞いたら『この前、天井から汚水が降ってきた』とのことだった」と水漏れを他人事のように言う答弁には正直驚いた。冷酷ささえ感じた。知事がよく言う「人・間中心」とは、「間が抜けている」といった議員がいたが、私は、人の間を引き裂くものなのだと思った。

島田

専門家の意見でも、京都のリハビリ体制が大変遅れており、回復期リハビリでは今の二倍以上の整備が必要であることを示して、改善計画の提示を迫りました。

知事は、改修を怠ってきた自らの責任を棚上げにして、病院施設の老朽化などを理由に、あくまでも洛東病院廃止を強行する姿勢を示しました。

京都のリハビリテーション医療体制の充実を

島田府議は、のべ三十のリハビリの病院があるという知事答弁は、ダブルカウントしたごまかしであり、現実には、回復期リハビリをやっていないのは十一病院しかないと指摘。府のリハビリテーション医療体

制の整備計画がないまま、知事が、洛東病院廃止に邁進していることを鋭く追及しました。また、あり方検討委員会の進め方で、委員の一人が提言の「まとめ方や意見の内容について異議をのべることができなかった」と告発していることを取り上げて、追及しました。

さらに、府立病院のあり方検討委員会の委員には、保健福祉部ではなく、島津製作所から出向してきた経営戦略室の職員だけが任命されていることや、「全病棟廃止」の結論を出した「包括外部監査」の事務局も経営戦略室であることを指摘。経営効率優先で、最初から、洛東病院をつぶそうというやり方が明らかだと迫りました。

知事は、「府民本位」で行政経営をやっていると聞き直りました。

12月定例府議会に提出された請願、意見書・決議案

請願件名	付託委員会	紹介議員会派	審査結果	共産	自民	民主	公明	新政
定率減税の廃止に反対することに関する請願	総務	日本共産党	不採択		×	×	×	×
府立洛東病院廃止に反対し、リハビリ施策の確立を求めることに関する請願	厚生労働	日本共産党	不採択		×	×	×	×
難病相談・支援センターの早期開設に関する請願	厚生労働	自・民・公・新政	採択					
改正DV防止法を受け、京都府のDV被害者支援施策を重点施策とすることに関する請願	厚生労働	自・民・公・新政	採択					
すべての子どもが就学前まで無料で医療が受けられるよう制度拡充を求めることに関する請願	厚生労働	日本共産党	不採択		×	×	×	×
京都府のリハビリテーション医療の充実を求めることに関する請願	厚生労働・文教	日本共産党	不採択		×	×	×	×
すべての子どもたちにゆきとどいた教育をすすめ、心のかよいあう学校をつくることに関する請願	文教	日本共産党	不採択		×	×	×	×
養護教諭の正規複数配置を求めることに関する請願	文教	日本共産党	不採択		×	×	×	×
特別支援教育の支援体制の整備・拡充を求めることに関する請願	文教	自・民・公・新政	採択					

意見書・決議案名	提出者名	採決結果	共産	自民	民主	公明	新政
北朝鮮による虚偽の証拠資料提出に抗議し日本人拉致事件の早期全面解決を求める意見書	全会派	可決					
イラクからの自衛隊の早期撤退を求める意見書	日本共産党	否決		×	×	×	×
イラクへの自衛隊派遣延長の撤回を求める意見書	民主・府民連合	否決	×	×		×	×
京都府のリハビリテーション医療の充実を求める決議	日本共産党	否決		×	×	×	×
定率減税の縮小・廃止に反対する意見書	日本共産党	否決		×	×	×	×
地方交付税等の維持・拡充を求める意見書	日本共産党	否決		×	×	×	×
「三位一体改革」を国の財政再建の手段に利用しないことを求める意見書	自・民・公・新政	可決	×				
「三位一体改革」の名による国庫補助負担金の廃止に関する意見書	日本共産党	否決		×	×	×	×

「犯罪のない安心・安全なまちづくり条例」の採択について

（「京都府議会12月定例会を終えて」談話より抜粋）

今議会に「犯罪のない安心・安全なまちづくり条例」がわが党議員団を含む全会派から共同提案され、採択された。（中略）

わが党議員団は協議に際して、プライバシーなど住民の基本的な人権を侵害する危険を排除するとともに、警察活動に住民を協力させる体制づくりではなく、住民の自主的とりくみを尊重することなどを主張した。

18回の検討委員会の結果、条例は「犯罪発生」の要因として無秩序な経済活動や有害な情報の氾濫などをあげ、安全なまちづくりのため、第一義的には府民生活の安定を図る行政の責任と警察の役割を明記した。「監視社会づくり」とならないよう「互いの基本的な人権を尊重」「プライバシーの保護をはじめ基本的な人権に最大限の配慮」が明記された。これは地域における防犯活動などはあくまでも自主的なものであること、そして監視カメラの設置などを無制限に拡大することへの歯止めとなるものである。施策の実施の重点として「子ども、高齢者、障害者その他犯罪の被害を受けるおそれが高い者」をあげ、府がそのための対策を講じるように定めた。これは、今日の国民の不安に応えるものであり、他府県の条例のように「住宅や商業施設の防犯性を高める」などの条項はすべて排除した。さらに、犯罪被害者への支援を明記した。

わが党議員団は、相次いで児童殺傷事件が発生するなど国民の不安が高まっているもとの、犯罪から子どもや高齢者などを守ることは、警察力を中心に対応すべきであると考えたとともに、地域の人々が協力し合っている取り組みも重要な役割を果たすものとする。しかし、同時にこのことが「監視社会づくり」とならないよう、この条例が適切に運用されるよう奮闘するものである。